



週間情報



No.2846

発行日 平成28年11月29日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 全国消防長会消防長研修会（東北支部）を開催

全国消防長会東北支部

全国消防長会東北支部では、平成28年11月24日（木）、新潟県新潟市（新潟グランドホテル）において、東北支部内の消防長を対象とした、平成28年度消防長研修会を開催しました。研修会では、67名の消防長（代理含む。）が参加し、次の内容について講師から講義をいただくとともに、全国消防長会事務局から本会各種事業等についての報告や説明も併せて実施しました。

【講義内容】

- 「消防行政の現状と課題について」
消防庁次長 大庭 誠司 氏
- 「山本五十六とリーダーシップ」
河井継之助記念館 館長 稲川 明雄 氏



2016年2月に合志市のユーパレス弁天敷地内にオープンした「クラッシーノ・マルシェ」は、地元で採れた新鮮な野菜や果物をはじめ、阿蘇のあか牛や天草の海産物など、熊本県内からの「いいもの」を集めたアンテナショップです。
合志市の新しいランドマークとして、皆さまに親しまれる店づくりを目指します。



一般社団法人 クラッシーノこうし
〒861-1103 熊本県合志市野々島2438-1
TEL: 096-342-5554 FAX: 096-342-5550
<http://klassino-koshi.jp>

クラッシーノ・マルシェ

検索

通販サイト **Klassino Marché** 好評稼働中！
クラッシーノ・マルシェ

阿蘇のあか牛や天草の海産物、地元で生産される旬のお野菜などの「いいもの・うまいもの」を取り扱っております。県外のご家族やお世話になった方への贈り物に最適です。ぜひご利用ください！



右のQRコードを読み込んでください。
通販サイトへ移動します。
または「クラッシーノ・マルシェ」で検索してください。



フリーダイヤルからもご注文が出来ます！

0120-015-254

◆ 全国消防長会消防長研修会（四国支部）を開催

全国消防長会四国支部

全国消防長会四国支部では、平成28年11月25日（金）、高知県高知市（高知会館）において、四国支部内の消防長を対象とした、平成28年度消防長研修会を開催しました。

研修会では、50名の消防長（代理含む。）が参加し、次の内容について講師から講義をいただくとともに、全国消防長会事務局から本会各種事業等についての報告や説明も併せて実施しました。

【講義内容】

- 「消防行政の現状と課題について」
消防庁予防課長 鈴木 康幸 氏
- 「南海地震に備える～熊本地震から南海地震を考える～」
高知大学理学部災害科学講座 准教授 松岡 裕美 氏



【研修会の様子】

消 防 本 部 の 動 き

行 事

◆ 大津市消防局と合同で広報イベントを開催

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、平成28年11月9日から始まる「秋の火災予防運動」に先立ち、11月5日（土）、大津市消防局と合同で、両消防局の境界に立地するイオンモール草津において広報イベントを開催しました。

今回のイベントは、住宅用火災警報器の設置促進と適正な維持管理の周知に力を入れて行いました。多くのお客様で賑わいを見せるなか、消防音楽隊の演奏やゆるキャラによる広報活動はひとときわ注目を集めました。

今後も、このようなイベントを通じ、市民の更なる防火防災意識向上を目指します。



【イベントの様子】

◆ 消防・防災フェスティバルを開催

津市消防本部（三重）

津市消防本部では、平成28年11月5日（土）、当市消防本部・久居消防署において、市民一人一人の防火・防災意識の高揚と消防行政に対する理解を深めてもらうため、消防・防災フェスティバルを開催しました。

定番の消防車両の展示をはじめ、初期消火体験、防火服着体験、ちびっこレスキュー、AED体験、地震体験などの体験型ブースのほか、初めての試みとして防火衣室・指令センターなどを巡り、消防音楽隊のミニコンサートで締める「消防本部・消防署見学ツアー」を実施しました。

見事な青空が広がったこの日は、来場者から「良い経験ができた」、「子ども達が楽しめて良かった」、「防災教育にもなり良かったので、自宅に帰って子どもとよく話し合ってみたい」などの声が多数寄せられ、消防や防災について広く市民に理解を深めていただけたと思います。



【ちびっこレスキューの様子】

◆ 第3回うるま市ふれあい消防フェスタを開催

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、平成28年11月9日（水）、うるま市具志川ドーム内外において、第3回うるま市ふれあい消防フェスタを開催しました。

当日は、市内の25幼年消防クラブと24保育園の園児、引率者、保護者を含む約1,500名が参加しました。

フェスタ開始式では、幼年消防クラブ（2園）が防火演技を披露し会場を盛り上げ、参加園児全員による防火宣言を行いました。

開始式終了後にドーム内で、サッカー大会・煙体験、ドーム外で、消火器取扱い・放水体験・ミニ消防車同乗体験・車両展示（記念撮影）・救助体験など各種体験コーナーを楽しんでいただきました。また、会場では、女性防火クラブ会員による住宅用火災警報器設置パンフレット配布など火災予防を呼び掛けました。



【フェスタの様子】

◆ 119番の日に消防記念行事を開催

小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、平成28年11月9日（水）、119番の日にちなんだ消防記念行事を、本年4月に新築された小樽市立手宮中央小学校において開催しました。

教職員23名、児童232名を対象に、地震により火災が発生したとの想定で避難訓練を行った後、119番通報装置を使用した通報体験、訓練用AEDを使用した救命体験、消防車両や資機材、装備等の展示、防火衣の着体験、訓練用水消火器を使用した消火体験などを実施しました。

好奇心旺盛な児童たちは、各体験を積極的にを行い、職員に質問するなど大いに盛り上がっていました。通報体験した児童の1人は、「緊張して住所が言えなかったのが覚えます。」と笑顔で話していました。



【通報体験の様子】

◆ スヌーピーを一日消防署長に任命し消防訓練を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁麻布消防署では、平成28年11月10日（木）、スヌーピーミュージアムで実施された自衛消防訓練に際し、スヌーピーを一日消防署長に任命しました。

スヌーピー一日消防署長の見守るなか、展示室から出火したとの想定で実施された自衛消防訓練では、ミュージアム自衛消防隊が迅速な自衛消防活動を披露し、麻布消防署のポンプ車による放水で締めくくられました。

報道関係者のほか大勢のスヌーピーファンが見学し、スヌーピーの愛くるしさとともに火災予防運動を大々的にPRしました。



【スヌーピー一日消防署長の様子】

◆ 市内の大型ショッピングモールにおいて火災予防広報を実施

富士宮市消防本部（静岡）

富士宮市消防本部では、平成28年11月10日（木）、秋季全国火災予防運動に伴い、市内の大型ショッピングモールにおいて、富士宮聖母幼稚園幼年消防クラブとともに、住宅用火災警報器の設置及び維持管理など火災予防を呼び掛けました。

幼年消防クラブ員は、法被を着用し「火の用心お願いします。」と声を掛けながら住宅用火災警報器のチラシ、火の用心のティッシュを配布し火災予防を訴えました。

今後も当消防本部では幼年消防クラブ員とともに広報活動を継続して実施し、火災予防を訴えていきたいと思っています。



【火災予防広報の様子】

◆ 柳川市幼年消防大会を開催

柳川市消防本部（福岡）

柳川市消防本部では、平成28年11月11日（金）、柳川市幼少年婦人防火委員会と（一財）日本防火・防災協会の共催により、柳川市幼年消防大会を開催しました。

この大会は、幼年消防クラブの充実と親睦、融和を図り、幼年期の防火思想啓発を目的として、毎年実施しています。

当日は、柳川市幼年消防クラブ21クラブ、来賓、保護者、役員等約1,000名が参加しました。大会では、消防職員による救助技術訓練の展示及び消防服紹介のほか、防火綱引きやクラブ員全員による遊戯、防火の誓いが元気いっぱいに行われました。



【大会の様子】

◆ 幼年消防クラブの結成式を実施

北広島市消防本部（北海道）

北広島市消防本部では、平成28年11月11日（金）、当消防本部において、北広島市防火委員会の主催により、平成20年以来、8年ぶり7つ目となる幼年消防クラブの結成式を行いました。

式では、防火委員会会長から幼年消防クラブへ防火まといの伝達を行い、子ども達が「絶対に火遊びはしません！」と約束しました。式の後に行われた女性消防団員による防火紙芝居の披露では、子ども達は物語に夢中になり、物語が終わると大きな拍手が上がりました。子ども達は、火事の怖さと火遊びの危険性を感じてくれたようです。最後は、車庫前で消防車を見学し記念撮影を行いました。

今後も、地域全体の安全・安心な暮らしを担うクラブ員を育成し防災力の強化に努めていくとともに、防火委員会と協力し、防火組織の育成と発展を目指していきます。



【結成式の様子】

◆ 第7回天草地域幼少年婦人防火大会を開催

天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、平成28年11月12日（土）、天草市民センターを会場として、第7回天草地域幼少年婦人防火大会を開催しました。

この大会は、管内の幼少年消防クラブ、婦人防火クラブ相互の交流と防火意識の向上を図るために3年ごとに開催しているもので、今回は、熊本地震からの復興の願いも込め「がんばろう熊本 がんばろう天草」をテーマに掲げました。

当日は晴天に恵まれ多数の方に来場いただき、第1部では優良クラブ11団体の表彰、第2部では幼少年防火クラブ6団体による大人顔負けの防火はしご乗り、こども獅子舞、牛深ハイヤ等の演技披露が行われ、観客から大きな喝采が沸き起こりました。最後に、出演クラブ員全員で「防火の誓い」を斉唱し大会を締めくくり、多くの観客に対し防火の心を伝えることができました。

また、屋外では「消防防災フェア2016」を同時開催し、濃煙体験、水消火器による消火訓練、119番通報体験をはじめ、大型消防車両の展示、消防ホースの的当てゲームなどのイベントが催され、小さい子ども達が列を成して楽しむ姿がみられました。



【防火大会の様子】

◆ 第17回消防フェアを開催

熊谷市消防本部（埼玉）

熊谷市消防本部では、平成28年11月13日（日）、当消防本部庁舎において、第17回消防フェアを開催しました。

当日は、体験型アトラクションとして救助訓練やはしご車搭乗、応急手当体験、煙体験、初期消火体験を実施しました。また、今年度防火ポスターコンクールで最優秀賞を受賞した市内の小学生2名が、一日消防署長として消防を広くPRしました。

来場者数は850名にものぼり、大盛況となりました。



【フェアの様子】

◆ 「キュンとするまち。藤沢」消防・救急フェア2016を開催

藤沢市消防局（神奈川）

藤沢市消防局では、平成28年11月13日（日）、市内のショッピングモールにおいて、「キュンとするまち。藤沢」消防・救急フェア2016を開催しました。

当日は、歌手の宮崎ひとみさんを一日消防長、2016湘南江の島海の女王の西宮亜美さんを一日消防署長に迎え、藤沢市の公式マスコットキャラクター「ふじキュン♡」と一緒に、住宅用火災警報器の設置維持広報、応急手当啓発、女性消防団員による消防団PRなどを実施しました。併せて、市内小・中学生防火ポスターコンクールの表彰式、消防音楽隊の演奏、はしご車のバスケット搭乗体験及びミニ消防車の乗車体験なども行い、多数の参加者を得て、イベントは大盛況のうちに幕を閉じました。

今後も、各種イベントや訓練指導の機会をとらえ、火災予防・応急手当の重要性について、広く市民にPRして参ります。



【フェアの様子】

訓練・演習

◆ 解体予定の歯科医院において救助訓練を実施

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部（宮城）

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部気仙沼消防署では、平成28年10月中の7日間、延べ108名が参加し、解体予定の歯科医院において救助訓練を実施しました。

この歯科医院は、昭和44年にRC造5階建てとして建設されましたが、建設した先代の院長は、地震津波災害を意識し堅牢に、さらに1階を駐車場として津波を素通しする構造としていました。そのため、東日本大震災では4mを超える津波に襲われたにも関わらず、その年の5月には応急的に診療を再開し、本格的な改修を経て通常の診療を続けてきましたが、東日本大震災復興土地地区画整理事業に伴い解体が決定しました。

訓練は、ブリーチング、ドアの開放、網入りガラスの破壊など6つの項目において実施しました。消防隊員の急激な若年化による経験不足が懸念されるなか、実践的かつ効果的な訓練となりました。



【訓練の様子】

◆ 特別救助隊による埋没要救助者救出訓練を実施

鹿島地方事務組合消防本部（茨城）

鹿島地方事務組合消防本部では、平成28年11月7日（月）及び8日（火）、神栖市役所多目的広場において、特別救助隊3隊が土砂災害時における埋没要救助者救出訓練を実施しました。

この訓練は、近年頻発している土砂災害への対応を主眼とし、平成26年度救助技術の高度化等検討会報告書「土砂災害時の救助活動のあり方」（消防庁国民保護・防災部参事官付）についての活動要領を基に教育訓練を実施したものです。

当日は、二次災害が極めて高い状況下での救出を想定し、桁形掘削救助と安息角を配慮しながらの掘削救助の2部構成で行い、土砂崩落の検証も兼ねた訓練としました。

今後も、多種多様な想定のもと訓練を実施し、隊員の心身を鍛え、災害に立ち向かう姿勢を続けていきたいと思います。



【訓練の様子】

◆ 山岳救助の連携強化訓練を実施

上野原市消防本部（山梨）

上野原市消防本部消防署では、平成28年11月9日（水）、市内の八重山において、上野原警察署と初めてとなる合同山岳救助訓練を実施しました。

八重山周辺は、市内では人気のあるハイキングコースで多くの登山者が訪れます。今回の訓練は、登山者が遭難した際に迅速かつ円滑な救助活動が行えるよう、連携強化を図ることを目的として実施しました。

訓練は、山頂近くの登山道からハイカーが滑落して怪我をしたとの想定で実施し、登山中はヘリコプターのピックアップポイントを確認しながら滑落地点をめざし、救出訓練では、相互の資器材を活用し協力して登山道まで負傷者を救出、その後ピックアップポイントまで搬送しました。

訓練施設ではない自然なフィールドでの訓練は、効果的かつ実践的な訓練になりました。今後も定期的に合同訓練を実施し、技術交流と連携強化を図っていききたいと思います。



【搬送訓練の様子】

◆ 平成28年度土砂災害対応訓練を実施

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、近年、全国各地で発生し、甚大な被害をもたらしている土砂災害の活動方針・救出法を構築するため、平成28年11月11日（金）、市役所東側の空地において、土砂災害対応訓練を実施しました。

本訓練は、山の一部ががけ崩れにより崩壊し、道路を走行していた2台の乗用車が土砂に巻き込まれ、車内の要救助者が脱出できない状況と、がけ崩れの土砂により一軒家の建物が破壊し、建物内にいた住人が生き埋めとなった多重災害を想定し訓練を実施しました。

当日の訓練では、当市で保有している3トン重機（ドラグシャベル）や地震警報器を含め多くの資器材を有効活用しました。



【車からの救出訓練の様子】

◆ 消防広域応援部隊合同訓練を実施

秦野市消防本部（神奈川）

秦野市消防本部では、県央都市消防行政協議会事業として、平成28年11月12日（土）、神奈川県内消防広域応援実施計画に基づき、県央地区8消防本部（厚木市、大和市、秦野市、座間市、伊勢原市、海老名市、綾瀬市、愛川町）が連携し、地震発生後の大規模な土砂災害を想定した合同訓練を実施しました。

本訓練では、第1部として当市が受援都市となった場合の部隊活動拠点である上智大学短期大学部への集結訓練を実施し、その後、第2部として新東名高速道路建設予定地に会場を移し、土砂災害救助救出訓練（ブラインド型）を各都市と連携し実施しました。

本訓練を通じて、参加消防本部間の行動確認により、さらに、顔の見える関係が構築できたことをはじめ、広域応援体制の更なる連携強化を図ることができ、大変有意義な訓練になりました。



【土砂災害救出訓練の様子】

研 修 等

◆ 公立高校で普通救命講習を実施

成田市消防本部では、平成28年11月1日（火）及び2日（水）、県立成田北高校1学年の生徒全員を対象に、将来を担う若い世代に救命の心を根づかせることを目的として、普通救命講習を実施しました。

生徒達は、心肺蘇生法・AEDの取扱い、ファーストエイドについて熱心に受講しました。講習終了時には「いざというときに対応したい」との前向きな意見が多く聞かれ、有意義な講習になりました。

今後も若い世代への応急手当の普及に尽力して参ります。

成田市消防本部（千葉）



【講習の様子】

◆ 瓦屋根の専門的知識習得研修会を実施

篠山市消防本部では、平成28年11月2日（水）、瓦屋根の専門的知識を習得するため、篠山市瓦屋根組合の協力を得て研修会を実施しました。

本研修会は、瓦屋根上での消防活動は危険要因が多いため、専門的知識を習得し安全な活動を行うことを目的に実施しました。葺き替え工事中の家屋をお借りして実技を行い、瓦屋根の歩行方法や瓦の撤去方法等について学びました。

今回の研修で瓦屋根の特性について理解を深め、現場対応能力の向上とより一層の安全管理能力の向上を図りました。

篠山市消防本部（兵庫）



【研修会の様子】

◆ 平成28年度救急技術指導会を開催

山口市消防本部では、平成28年11月8日（火）から10日（木）までの3日間、救急業務に携わる職員を対象に、知識、技術及びコミュニケーション能力の向上を図ることを目的として救急技術指導会を開催しました。

指導会では、実際の救急現場を想定し、119番の受報から傷病者を医療機関へ搬送するまでの一連の活動をブラインド形式で訓練を行いました。

訓練では、外国人や耳の不自由な方などの様々なケースに対して、心肺停止や外傷、各種疾患等の想定が付与され、通信指令員をはじめ、救急隊及び消防隊の連携や情報共有、救急技術の確認などをチーム一丸となって救急活動に臨む姿が見られました。

今後も継続的に訓練を実施し、市民の安心安全を守るため救急技術の向上に努めます。

山口市消防本部（山口）



【指導会の様子】

◆ 救急隊員研修会を開催

稲敷広域消防本部（茨城）

稲敷広域消防本部では、平成28年11月9日（水）及び10日（木）、救急隊員の現場活動や接遇、情報伝達能力の向上を目的として、平成28年度第2回救急隊員研修会を開催しました。

研修会では、すべてブラインド型のシミュレーション訓練とし、模擬通報者からの119番通報に対する指令課員の対応から始まり、現場活動や医療機関への連絡等、実際の救急現場のような臨場感のなか訓練が進みました。終了後には、医師・指導救命士の助言や、参加者全体での活発なディスカッションが行われ、活動を客観的に振り返ることができ、大変有意義な研修会となりました。

今後も研修会を通じて、救急活動の質の向上に努めて参ります。



【研修会の様子】

◆ 第2回秋田県消防救助研究会を開催

秋田県消防長会（秋田）

秋田県消防長会（開催事務局：由利本荘市消防本部）では、平成28年11月9日（水）、秋田県由利本荘市において、秋田県内13消防本部から約340名が参加し、第2回秋田県消防救助研究会を開催しました。

今回の研究会は「人材育成」をテーマとし、横浜市消防局高度救助部隊 河野宏紀氏を講師に招き「横浜市消防局の救助隊員の育成について」のご講演いただきました。

また、県内の消防救助隊員や消防学校教官、更には消防防災航空隊員から「救助隊員の人材育成」及び「救助事例」についての発表が行われました。

全国的に多くのベテラン隊員が定年退職を迎えるなか、人材の育成が重要課題となっており、秋田県も例外ではありません。今回の研究会は参加者にとって大変参考となる有意義なものとなりました。



【研究会の様子】

◆ 防火の集いで幼児防火教育を実施

津島市消防本部（愛知）

津島市消防本部では、平成28年11月13日（日）、秋季火災予防運動に併せて市内ショッピングセンターヨシヅヤ津島本店において「防火の集い」を開催し、当市消防団女性部による市内の幼稚園児を対象とした幼児防火教育が行われました。

今回は、園児の興味を引き付ける家庭内のハプニングを織り交ぜた寸劇に加え、女性部で考案した歌とダンスを園児と一緒に踊りました。会場に集まった人の真剣な眼差しに、今回の防火教育の手応えを感じました。

今後も津島市消防本部・消防団では、子どもに対する防火・防災教育を行い、更なる防火意識の向上を目指していきます。



【幼児防火教育の様子】

そ の 他

◆ 尼崎市防災センター展示ホールがリニューアル

尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局では、平成28年11月5日（土）、尼崎市防災センター展示ホールのリニューアルオープン式を行いました。

当センター展示室には、119番通報や消火器による消火、煙からの避難等を体験できるコーナーのほか、尼崎市の過去の災害を知るコーナーが新たに設けられました。招待した市内の少年消防クラブ員に新しくなった設備を体験してもらいました。クラブ員からは「実際に火災や地震が発生したときに、どう動けばいいか分かった。」との声が聞かれました。

また同日、尼崎市市制100周年記念事業として開催された「尼崎市防災フォーラム2016」の屋外イベントステージにおいて、当消防局のヒーローキャラクター「あまらぶ戦隊AAA（トリプル・エース）」がデビューしました。神戸芸術工科大学特殊造形部との官学連携事業によって誕生した消防隊・救急隊・救助隊をモチーフにしたヒーロー達が、来場した市民に対して火災予防や応急手当の必要性を訴えかけ、大盛況のうちに終了しました。

今後もヒーロー達とともに、尼崎市の安全・安心を守っていきます。



【消火体験コーナーの様子】



【あまらぶ戦隊AAA（トリプル・エース）】

◆ 人命救助活動に感謝状

なんたん 南但消防本部（兵庫）

南但消防本部では、平成28年11月11日（金）、人命救助活動に貢献した事業所に対して感謝状を贈呈しました。

10月25日（火）、葬儀場で男性が心肺停止となった際、葬祭会社従業員が協力して、素早く119番通報をするとともに、葬儀場内に設置していたAEDを使用して早期除細動と心肺蘇生を行いました。

男性は、救急隊到着時には呼吸・脈拍が再開しており、その後ドクターヘリへ引き継がれて病院へと搬送され、現在は社会復帰しています。

AEDの設置や救急講習の受講など、日頃から防災意識が高く、迅速かつ適切な活動を行った葬祭会社に対し、消防長から感謝状を贈りました。



【感謝状贈呈式の様子】

報道発表

◆ **危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）に対する意見公募（11月25日、消防庁）**

消防庁は、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）の内容について、平成28年11月26日から平成28年12月27日までの間、意見を公募します。

1 改正内容

給油取扱所において、圧縮天然ガスタンドのディスペンサー及びガス配管を給油空地に設置し、給油と圧縮天然ガス充填のための停車スペースを共用化する場合の技術上の基準を規定するものです。

2 意見公募対象及び意見公募要領

○ 意見公募対象

危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）

○ 詳細については、別紙（省略）の意見公募要領を御覧ください。

3 意見公募の期限

平成28年12月 27日（火）（必着）

※郵送については、締切日の消印まで有効とします。

4 今後の予定

皆様から寄せられた御意見を踏まえ、速やかに公布する予定です。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/11/281125_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

危険物保安室

担当：白石課長補佐、谷口事務官

◆ **「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」の表彰組織の決定等（11月28日、消防庁）**

石油コンビナート等における特定事業所においては、爆発や火災等の事故や災害に対応するため、防災要員や消防車両等を備えた自衛防災組織が置かれています。

この技能コンテストは、平成26年度から、防災要員の技能及び士気の向上を図ることを目的として、事業所の保有する消防車両を活用し実施しています。

平成28年度の技能コンテストは43組織に参加頂き、11月17日に消防庁で表彰・審査委員会を開催し最優秀賞1組織（総務大臣賞）、優秀賞4組織（総務大臣賞）、奨励賞20組織（消防庁長官賞）、特別賞1組織（消防庁長官賞）が決定しました。なお、12月5日に総務大臣賞表彰式を開催します。

（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/11/281128_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

特殊災害室

担当：菊地、酒川

◆ 第25回全国救急隊員シンポジウムを開催

神戸市消防局（兵庫）
一般財団法人救急振興財団

神戸市消防局と（一財）救急振興財団は、平成29年1月26日（木）、27日（金）の2日間、兵庫県神戸市において、下記のとおり標記シンポジウムを開催します。

記

1 開催日時

平成29年1月26日（木） 9：30～17：30（開場・受付8：45～）

平成29年1月27日（金） 9：30～13：00（開場・受付8：45～）

2 開催場所

神戸国際展示場2号館（神戸市中央区港島中町6丁目11番1号）

神戸国際会議場（神戸市中央区港島中町6丁目9番1号）

3 メインテーマ

「救命の未来をデザインする」～みなとまち神戸から飛躍への道しるべを～

4 プログラム

【1月26日（木）】

- (1) 基調講演『経験から学ぶ、未来につなげる』
- (2) シンポジウム1『救急隊員への生涯教育について』
- (3) シンポジウム2『救命処置の高度化を考える』～救急活動への影響と効果～
- (4) シンポジウム3『熊本地震の現場から』
- (5) シンポジウム4『指導救命士の役割について』
- (6) シンポジウム5『PADの現状』～バイスタンダー教育の実践と課題～
- (7) パネルディスカッション1『消防と医療の連携』～脳卒中～
- (8) パネルディスカッション2『大規模災害における他機関連携について』
～現状と課題の考察～
- (9) パネルディスカッション3『マスギャザリングイベントと国際化への対応』
～多様化する現場への危機管理～
- (10) パネルディスカッション4『救急需要対策』
～地域包括ケアシステムにおける消防機関の位置付け～
- (11) 教育講演1『消防機関に求められる危機管理とは』
- (12) 教育講演2『法律問題を知る』～救急業務における個人情報保護について考える～
- (13) ライブセッション1『大規模災害時の救急初期対応』～ライブ形式で～
- (14) スキルアップレクチャー『周産期』～分娩介助と新生児蘇生～
- (15) スキルアップトレーニング1『静脈路確保』～弱点はここだ～
- (16) スキルアップトレーニング2『ビデオ硬性喉頭鏡』～ポイントとピットフォール対策～
- (17) 緊急報告『相模原市における社会福祉施設での集団救急対応』
- (18) 一般発表1～12（採用演題のスライドはポスター化し終日展示）

【1月27日（金）】

- (1) シンポジウム6『指導救命士シンポジウム』
～現場学を発展させる 大型長距離バスの事故2事例を元に～
- (2) シンポジウム7『MC体制の方向性』～MCとの連携強化と質向上への取り組み～
- (3) パネルディスカッション5『職場での労務管理と女性の活躍促進』
～生涯活躍社会の実現に向けて～
- (4) パネルディスカッション6『消防と医療の連携』～急性冠症候群～
- (5) 教育講演3『ガイドライン2015をよみとく』
- (6) ライブセッション2『通信指令デモンストレーション』
- (7) 市民公開講座『救急車がくるまでに』

(8) 総合討論『我々が進むべき未来とは』

～救急救命士法制定から25年 今後の道しるべとなるために～

(9) 一般発表13～18 (採用演題のスライドはポスター化し終日展示)

5 その他

プログラムの内容は今後、追加・変更等が生じることが考えられますが、最新の情報は第25回全国救急隊員シンポジウム専用ホームページ (<http://25kobesympo.com/>) 内で運営に関する情報も含め、随時更新して公開しておりますのでご参照ください。

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp